

岩手医科大学 病理診断学講座では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせします。

研究課題名：

胃手繋ぎ型分化型腺癌における臨床病理学的検討と分子病理学的解析

1) 研究対象：

2000年から2016年にかけて、岩手医科大学病理診断学講座で診断された、外科による切除および消化器内科による内視鏡的切除が施行された患者さんのパラフィン包埋切片

2) 研究の概要：

顕微鏡的に手繋ぎ型の腺管を形成する胃癌の特徴を免疫組織化学（特定のタンパク質を染色する手法）や遺伝子および遺伝子産物(DNA、RNA等)の解析を行い、明らかにする研究を行っています。

3) 研究の意義：

今後、同様の胃手繋ぎ型分化型腺癌の患者さんにおいて、病変の発見や治療方針の判断に役立つ有用な情報を得ることができ、国民の健康増進・福祉向上に役立つと考えられます。

4) 本研究の目的：

本研究で胃手繋ぎ型分化型腺癌の発生しやすい年齢や発生しやすい場所、細胞の特徴や遺伝子の異常を明らかにすることを目的とします。

5) 本研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、患者さんの情報として、年齢、性別等の個人を特定できないものを研究に用います。また、治療のために手術もしくは内視鏡で切除された腫瘍を含む検体を試料として用います。採取された検体の情報として、採取部位、腫瘍の大きさ、深さ、血管やリンパ管への腫瘍侵襲の有無、リンパ節転移の有無などを用います。また、病理診断が終了したあとの検体を免疫組織化学（特定のタンパク質を切片で染める方法）や遺伝子等（DNAやRNAなど）の解析に試料として用います。

本研究のために新たな検体を採取したり、新しい情報を収集したりすることはなく、患者さんに新たな負担や不利益が及ぶことはありません。

6) 個人情報保護に関する配慮：

本研究では個人情報および診療情報などのプライバシーに関する情報は、個人の人格尊重の理念のもと厳重に保護され慎重に取り扱われるべきものと認識し、プライバシー保護に努めます。

情報に関しては、個人が特定されないよう匿名化を行い、岩手医科大学医学部病理診断学講座にてインターネットを介さないパーソナルコンピュータを用いて行う。データ（対応表と解析データを含む）はデバイスに暗証番号を用い鍵のついた保管庫に保管します。

患者さん等からの御希望があれば、その方の解析情報は研究に利用しないようにしますので、いつでも下記の連絡先まで申し出てください。

6) 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究代表者：菅井 有（すがい たもつ）
岩手医科大学医学部 病理診断学講座
〒020-8505 岩手県盛岡市内丸 19-1
TEL：019-651-5111（内線 3123）
E-mail：tsugai(at)iwate-med.ac.jp
[(at)を@に変更してご利用ください]

研究事務局：藤田 泰子（ふじた やすこ）
岩手医科大学医学部病理診断学講座
〒020-8505 岩手県盛岡市内丸 19-1
TEL：019-651-5111（内線 3123）
E-mail：fujitaya(at)iwate-med.ac.jp
[(at)を@に変更してご利用ください]